

研究課題番号	3G-2202
研究課題名	地域特性によるプラスチック回収資源化システムのモデル・シナリオ形成
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	福岡大学
研究代表者名	鈴木 慎也

## 1. 委員の指摘及び提言概要

3地域での廃プラスチック賦存量の把握、再生プラスチック製品の試作を通じたりサイクルループの形成および回収システムモデルの構築により、回収と再生の相乗効果を実現することが目標とされている。評価として、地域の廃プラ発生分布を踏まえた対応策の検討は現実に即しており、地域回収モデルの構築やシナリオ分析への準備が進められていることから今後の成果が期待される。一方、サブテーマ1での「見える化」の実際が生ごみ分別用バケツとなっている点は人々の行動変容に寄与するとは考えにくいこと、サブテーマ3で掲げられた最適社会システムでの「最適」とする指標に関し、どのような尺度で最適化するのかを明確にし、市民の分別行動と事業者の回収・域内処理システムとの間でサブテーマ間のより密接な関係を強化することが必要であるといった指摘がなされたことに十分留意されたい。また、査読付き論文の成果蓄積にも取り組まれたい。

## 2. 採点結果

評価ランク：A